草津市
志津学区防災計画

2版 :令和6年(2024年)3月 風水害追加
初版:令和5年(2023年)3月 地震災害

防災プロジェクト

志津まちづくり協議会

目　次

（１）はじめに
（２）学区防災計画とは
（３）志津学区の地理的特徴
（４）対象災害
（５）志津学区で想定される地震と被害予測
（６）志津学区で想定される風水害と対応方法
（７）志津学区防災組織の体制
（８）志津学区内の防災組織の役割分担と連携
（９）災害発生時の活動内容
（10）平常時の活動
（11）今後の課題
（12）おわりに

参考

①洪水・内水ハザードマップ(志津学区)
②防災マップ(志津学区)
③町内会等の活動状況

はじめに

近年、地球温暖化の影響によると思われる台風等の異常気象が多発し、かつ激甚化する傾向が顕著となっています。また、地殻変動活動も活発化の傾向にあり、大規模地震が多発する状況となっています。この結果、世界また日本各地で非常災害が毎年発生し、多くの人が被災されています。

一方、滋賀県の湖南地方とりわけ草津市では、過去に大きな災害に見舞われ、先祖の皆様は大変苦労された記録はありますが、最近では幸いなことに大きな災害には遭遇していません。しかし、超大型台風並びに大雨の襲来、南海トラフを震源とする大規模地震等の発生は何時起っても不思議ではありません。

このため、志津学区においても「第3次志津まちづくり計画書(５ヶ年計画)」に従い、防災対応能力を向上させることを目標に、草津市の協力を経て「志津学区防災計画」を策定し、非常災害発生時の活動体制を整えることとしました。

誰ひとり残さない災害に強い地区にしたいと思いますのでご協力をお願いします。

志津まちづくり協議会
防災プロジェクト

学区防災計画とは

非常災害対応では対応する側からの区分として「公助」「共助」「自助」に分かれており、各々は下表のようになっています。そして、志津学区では町内会等の自主防災会はありましたが、学区単位の防災組織及び活動がありませんでした。そのため、「志津学区防災計画」を策定することとしました。令和４年度に地震災害編として初版し、令和５年度に風水害編を追加して、今後はこの志津学区防災計画に沿って災害に備えていきます。

学区防災計画とは

区分	活動組織	活動内容	活動計画の文書名
公助	草津市・消防署・警察等の行政機関	災害時の救助・消火・被災対策等住民の生命と財産保護等	草津市「地域防災計画」
共助	**学区単位の「防災組織」**	**学区内ニーズによる活動**	**一般に「地区防災計画」又は「志津学区防災計画」と呼ぶ**
	町内会等の「自主防災会」	住民の安否確認・消火・救出救護・避難誘導等	
自助	住民自身が行う活動	安全確保・避難等	一般に「防災行動計画」と呼ぶ

志津学区の地理的特徴

志津学区は、南側は緩やかな丘陵地となっており、南から北に草津川、伯母川が流れています。このため、ほとんどの住居は扇状地の平地と丘陵地に立地しています。

丘陵地に立地する住居は浸水被害の心配はありませんが、一部にがけ崩れによる「土砂災害」の発生が予測されている箇所があり、この面での注意が必要となっています。

一方、扇状地の平地に立地する住居は大雨による草津川堤防の決壊、並びに伯母川の増水・氾濫による「浸水被害」の発生と大地震時の「地盤の液状化現象」に注意が必要となっています。

志津学区の地理的特徴

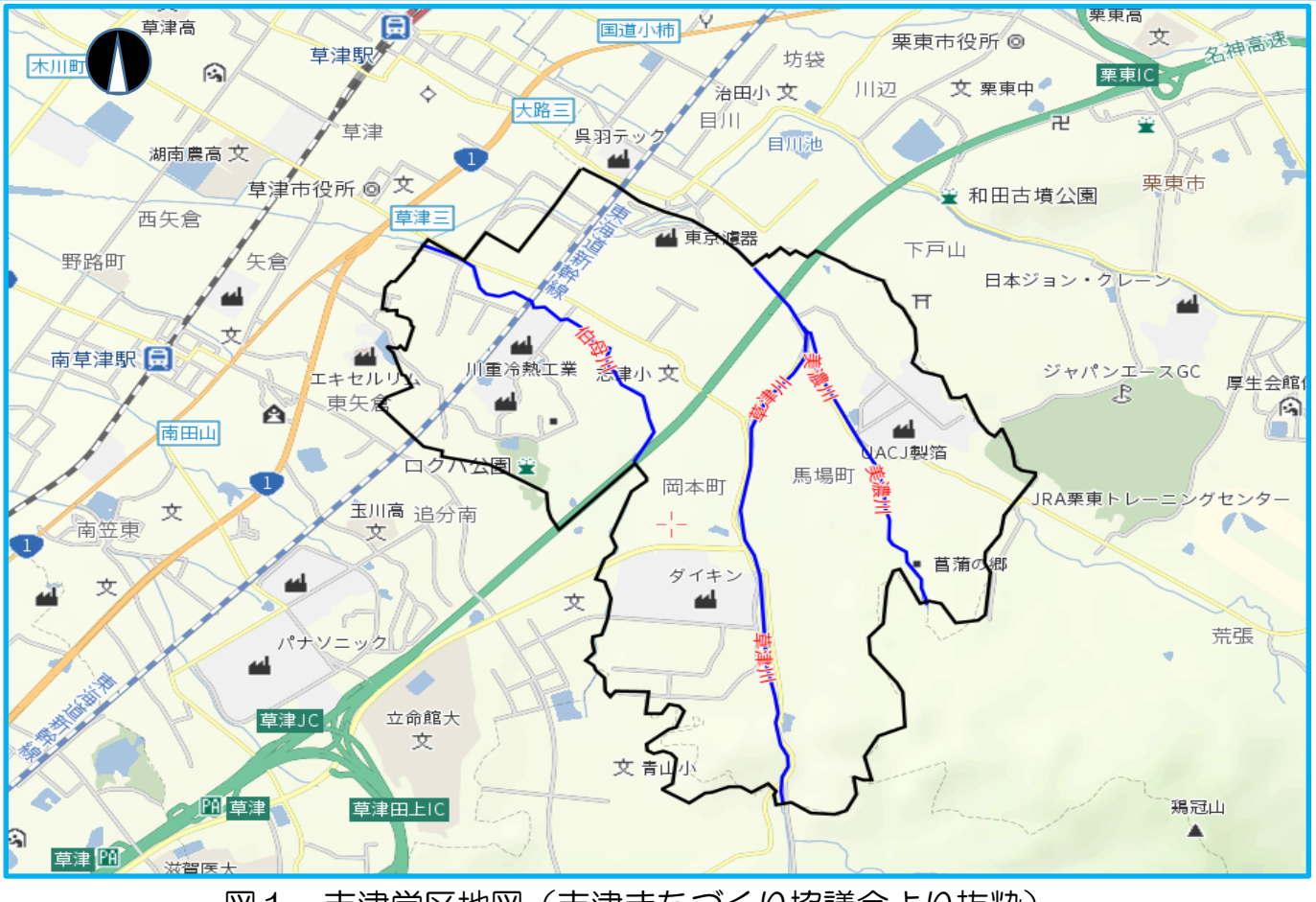


図１　志津学区地図（志津まちづくり協議会より抜粋）

対象災害

近年、災害が激甚化、頻発化しており、草津市（志津学区）においても重大な被害が生じる災害の発生が想定されています。その一つが地震災害であり、志津学区では建屋等に被害が発生する震度６弱以上の地震で発生頻度が高いと予想されているものとして、直下型地震では「琵琶湖西岸断層」、海溝型地震では「南海トラフ地震」があります。

また、台風又は大雨による災害も予想されます。特に志津学区には天井川である「草津川」が流れており、過去にはこの草津川の堤防が度々決壊し、広い範囲が浸水被害を受けています。現在では草津川は金勝川との合流部から下流側が平地化され浸水被害の脅威は低減されていますが、上流部では依然としてリスクが残っており、無視することはできません。

以上のことから地震災害及び風水害を志津学区の防災活動の対象災害として、令和4年度に「地震災害」を、また、令和５年度に「風水害」を追加して志津学区防災計画を策定しました。

志津学区で想定される地震と被害予測

志津学区で考慮すべき地震の震源としては「直下型地震」の震源となる周辺の活断層、及び「海溝型地震」の東海・東南海・南海トラフの震源帯です。活断層分布図を図２に、また、「海溝型地震の震源帯」の分布図を図３に示します。志津学区に特に考慮すべき地震は「琵琶湖西岸断層による地震」と「南海トラフ地震」となっており、次ページ以下に想定される被害を示します。

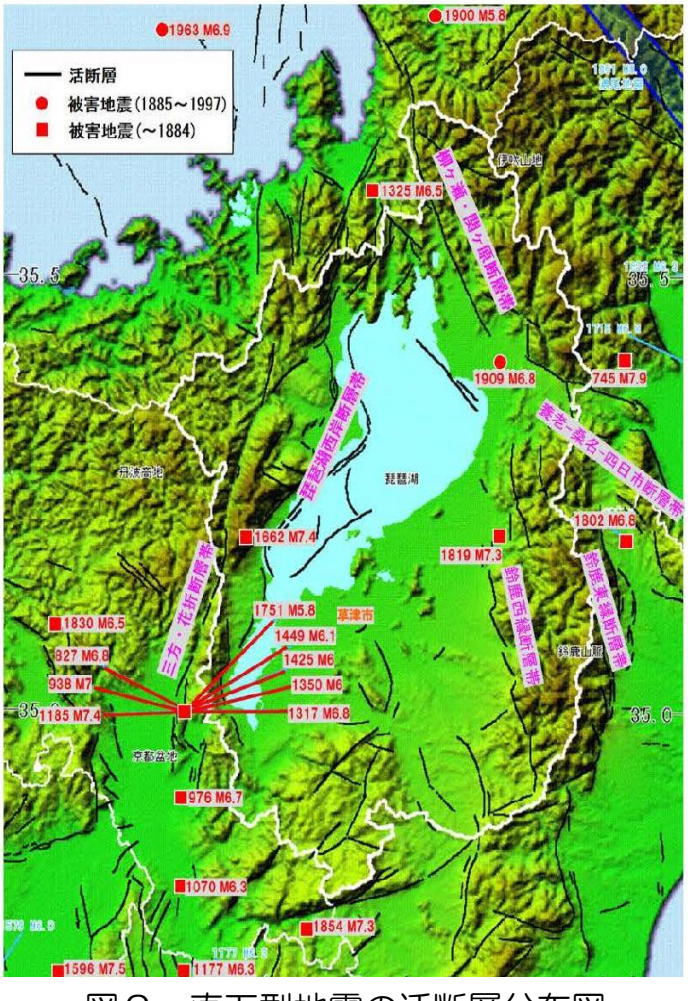


図２　直下型地震の活断層分布図
（草津市防災アセスメント調査より抜粋）

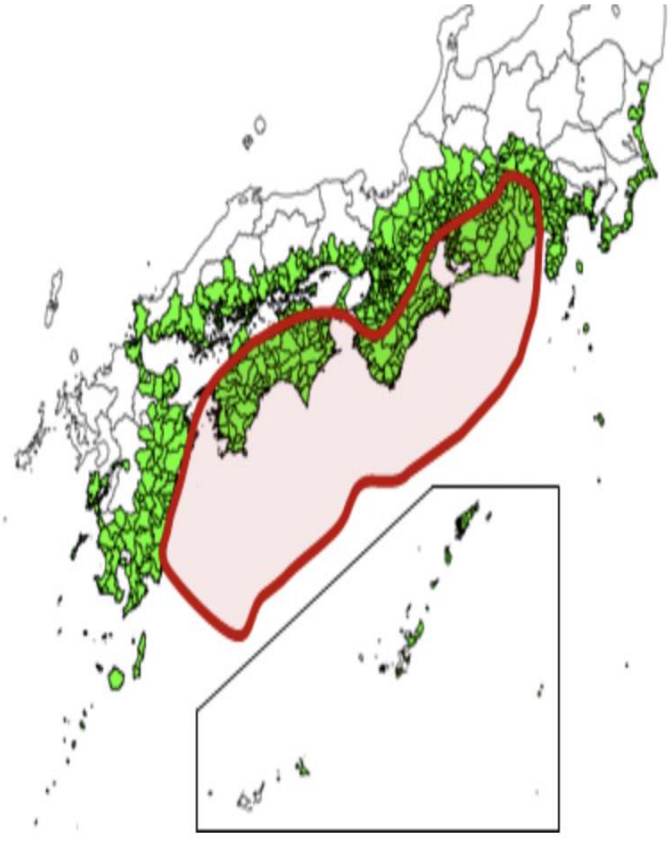


図３　海溝型地震想定震源域図（赤枠）
（気象庁南海トラフ地震で想定される震度や津波の高さより抜粋）

想定される被害（琵琶湖西岸断層帯による）

■　琵琶湖西岸断層帯の被害想定

「草津市防災アセスメント調査」（平成27年（2015年）１月時点）によると、琵琶湖西岸断層帯を震源とする直下型地震が発生し、志津学区では最大震度７（図４参照）の揺れが発生すると予測され、地震災害とし

想定される被害（琵琶湖西岸断層帯による）

て最も大きな被害をもたらす可能性があります。また、扇状地の平地では地盤液状化の発生可能性も高いと指摘されています（図５参照）。この結果、志津学区では最大で死者約２１人、重傷者約３３人、負傷者約２０１人、避難者約１５５４人（図６参照）と見込まれています。帰宅困難者も市内で多く発生することも想定されています。建物被害では、全壊棟数約３３４棟、半壊約８３６棟が発生（図７参照）することが見込まれています。

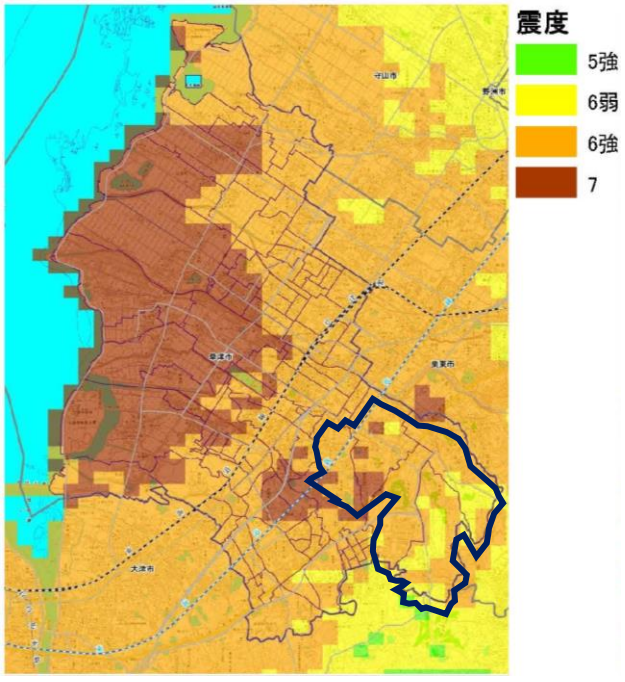


図４
琵琶湖西岸断層帯における最大震度分布図
（草津市防災アセスメント調査より抜粋）

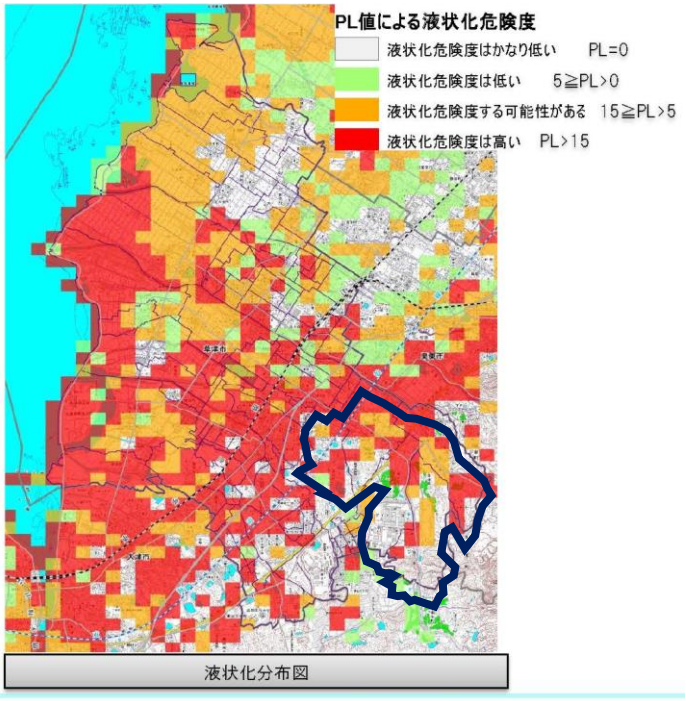
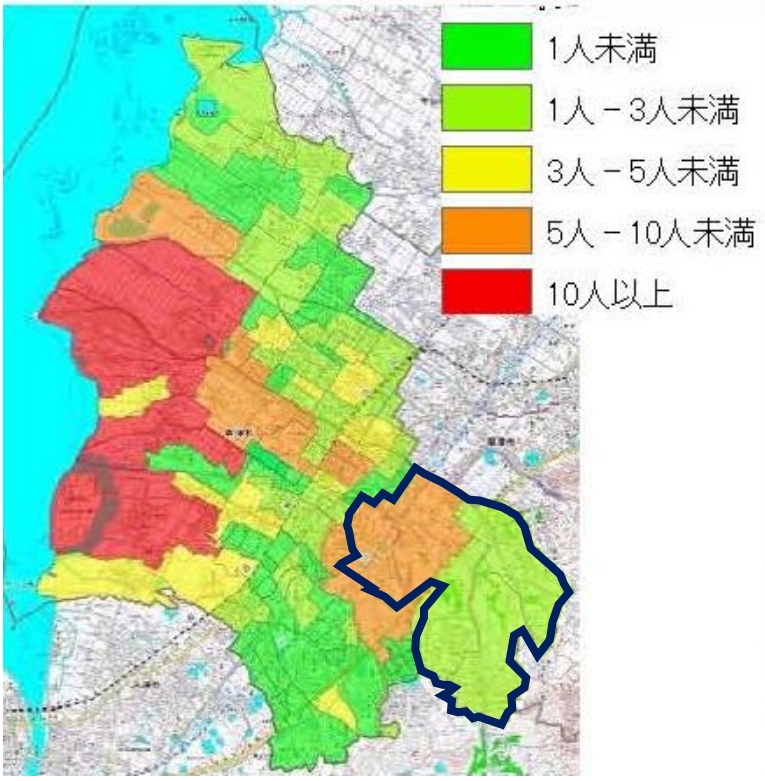
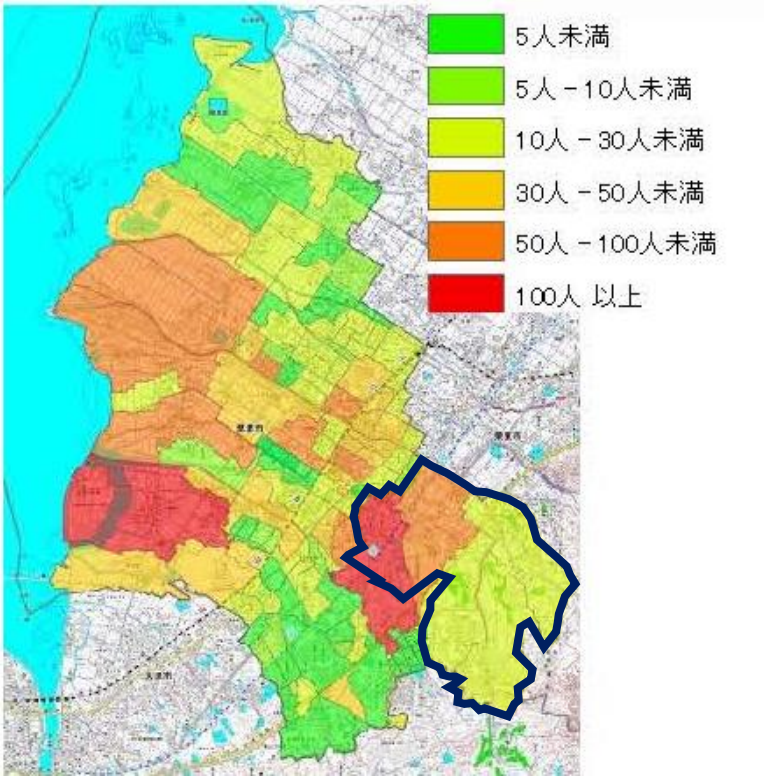


図５
琵琶湖西岸断層帯における液状化分布図
（草津市防災アセスメント調査より抜粋）

想定される被害（琵琶湖西岸断層帯による）



（地区別の死者発生予測）



（地区別の重傷者発生予測）

図６ 琵琶湖西岸断層帯地震における地区別の死者発生予測分布図

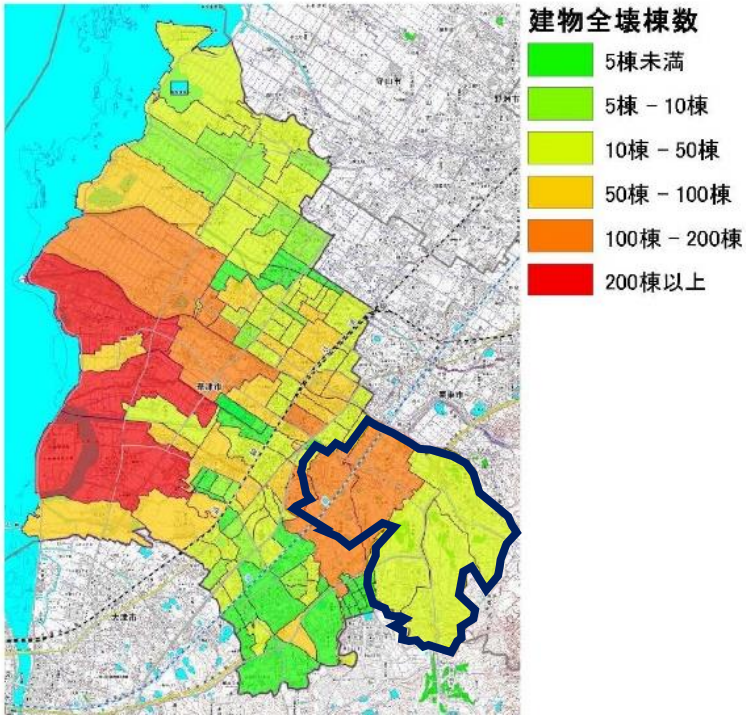


図７ 琵琶湖西岸断層帯における地域別の建物全壊棟数予測分布図

想定される被害（南海トラフ地震による）

■　南海トラフ地震の被害想定

「草津市防災アセスメント調査」（平成27年1月時点）によると、南海トラフ地震が発生すると、志津学区には最大震度6強(図８参照)の揺れをもたらすとともに、全国的に被害が発生するために県外からの応援が難しく、県内防災力のみで対応せざるを得ない状況に陥る可能性があります。また、扇状地の平地では液状化の被害も懸念されます。（図９参照）

この結果、志津学区では最大で死者約2人(図10参照)、重傷者約3.5人、負傷者約52人、避難者約237人、建屋全壊棟数約35棟、建屋半壊棟数約270棟（図11参照）の被害が発生すると予測されています。

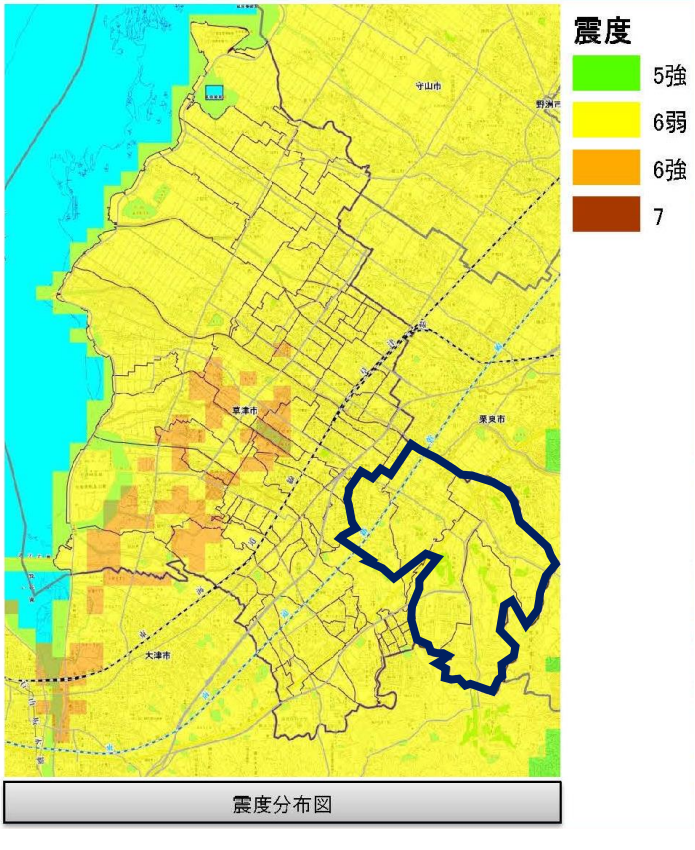


図８
南海トラフ地震における最大震度分布図
（草津市防災アセスメント調査より抜粋）

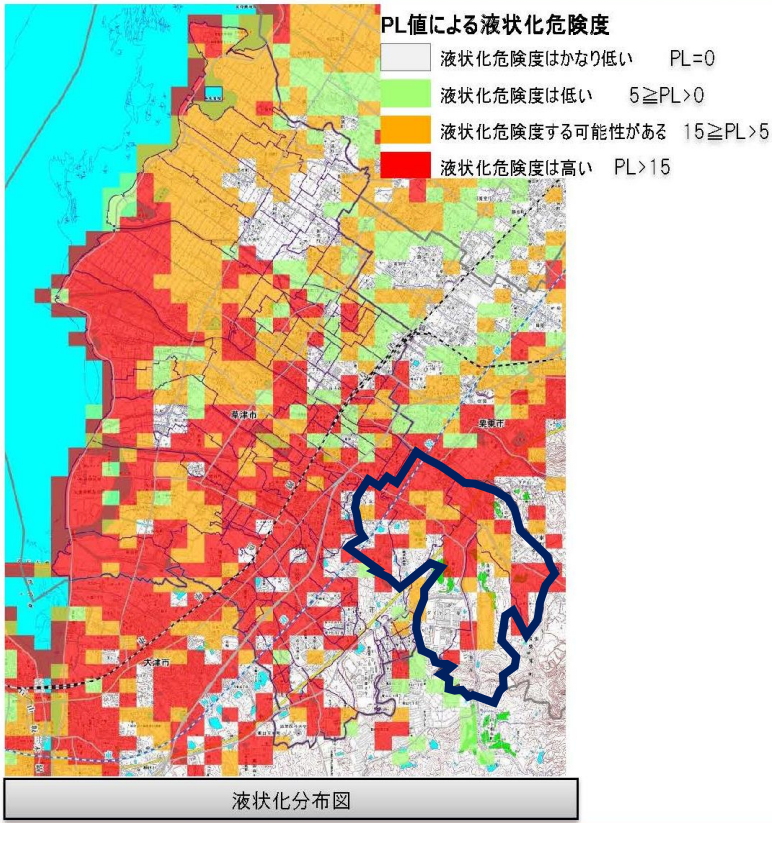
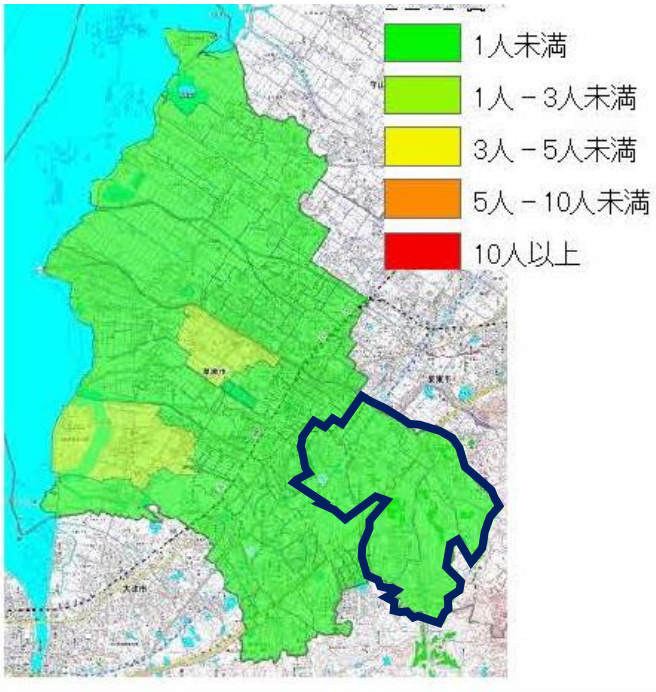
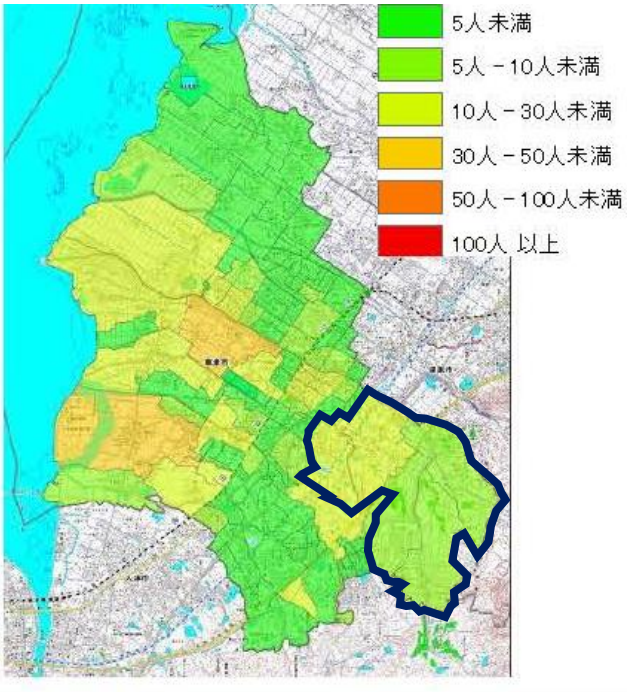


図９
南海トラフ地震における液状化分布図
（草津市防災アセスメント調査より抜粋）

想定される被害（南海トラフ地震による）



（地区別の死者発生予測）



（地区別の重傷者発生予測）

図１０ 南海トラフ巨大地震における地区別の死者・重傷者発生予測分布図

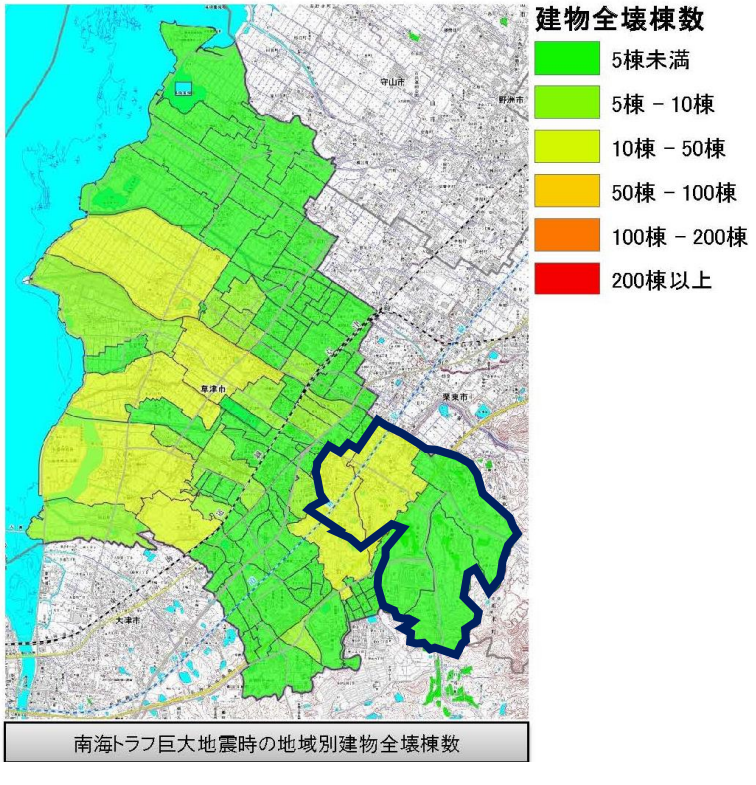


図１１ 南海トラフ巨大地震における地域別の建物全壊棟数予測分布図

志津学区で想定される風水害と対応方法

志津学区における風水害の発生可能性

種類	発生の可能性 がある場所	学区内発生予想箇所
浸水	平野部で 排水が悪い土地	全１２町内会・自治会が該当 （まだら模様あり） （洪水・内水ハザードマップ参照）
洪水	河川の氾濫、堤防の 決壊が予想される箇所 （草津川） （伯母川の近傍）	（草津川） 馬場、山寺、山寺新田、 山寺大空、笠井、岡本 （伯母川） 岡本、青地２，追分
土砂	○急傾斜・崖の崩落 予想箇所	市により指定（合計　28ヶ所） ○馬場・3ヶ所 ○山寺・14ヶ所 ○岡本・9ヶ所 ○青地２・2ヶ所
	○土石流発生予想箇所	市により指定　（合計2ヶ所） ○伯母川上流部（桐生・馬場） ○菖蒲谷川支流部(馬場)
暴風	風当たりが強い箇所	全12町内会・自治会が該当 （まだら模様あり）

志津学区で想定される風水害と対応方法

風水害毎の志津学区内の対応方法

<table>
<tr><th colspan="2">種類</th><th>対応方法</th><th>避難所等</th></tr>
<tr><td colspan="2">浸水</td><td>該当区域の住民は気象情報・市の指示に従い、早期に広域避難所若しくは近くの安全な場所や、自宅の2階等、安全な場所に避難する。</td><td rowspan="2">避難所
〇志津まちセン
〇志津こども園

広域避難所
〇志津小学校
〇高穂中学校
〇テクノカレッジ</td></tr>
<tr><td colspan="2">洪水</td><td>該当区域の住民は気象情報・市の指示に従い、早期に広域避難所若しくは近くの安全な場所に避難する。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">土砂</td><td>崖崩れ</td><td>該当区域の住民は気象情報・市の指示に従い
早期の避難、若しくは崖から離れた部屋に移動</td><td rowspan="2">基本的に志津小学校
(若しくは該当箇所の町内会館
ただし、青地2は志津まちセン</td></tr>
<tr><td>土石流</td><td>該当区域の住民は気象情報・市の指示に従い
早期の避難。</td></tr>
<tr><td colspan="2">暴風</td><td>該当区域の住民は気象情報・市の指示に従い、早期に広域避難所若しくは近くの安全な場所に避難する。</td><td>避難所
〇志津まちセン
〇志津こども園

広域避難所
〇志津小学校
〇高穂中学校
〇テクノカレッジ</td></tr>
</table>

志津学区で想定される風水害と対応方法

風水害に対する防災活動（草津市）

警戒レベル	気象庁情報等	市 対策本部 避難情報等 発信	一般住民
5	暴風特別警報 大雨特別警報 氾濫発生情報 （特別警報）	緊急 安全確保	命を守るための最善の行動をとる
4	土砂災害警戒情報 氾濫危険情報	避難指示 避難指示	速やかに避難先へ避難 (公的な避難場所への移動が困難な場合は、近くの安全な場所や、自宅内のより安全な場所に避難する) 速やかに避難先へ避難 (公的な避難場所への移動が困難な場合は、近くの安全な場所や、自宅内のより安全な場所に避難する)
3	暴風警報 大雨警報 洪水警報 氾濫警戒情報 （警報）	高齢者等 避難	避難に時間を要する人(高齢者、障害のある方、乳幼児等)とその支援者は避難する。 その他の人は避難準備を整える。
2	強風注意報 洪水注意報 大雨注意報 （注意報）		避難に備え、ハザードマップ等により自らの避難行動を確認する

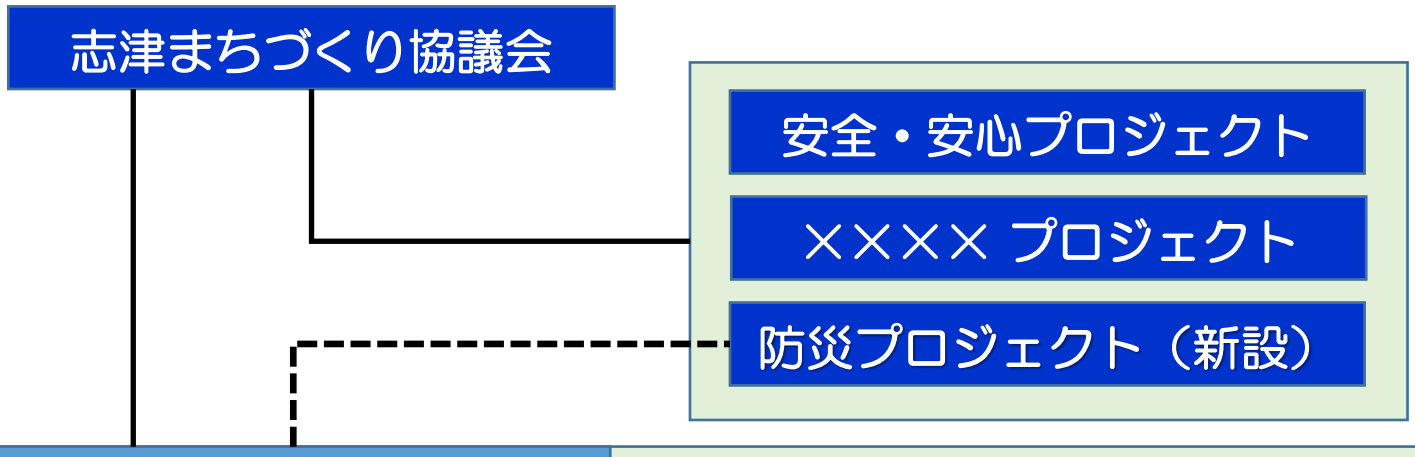
志津学区で想定される風水害と対応方法

志津学区内
風水害対応の主要活動(自主防災会・学区防災本部)

警戒レベル	市・対策本部 避難情報等発信	志津学区防災本部	町内会等の自主防災会(例)
5	緊急安全確保	広域避難所開設支援 各自主防災会の情報集約・市への報告 市からの情報伝達	災害の発生状況の連絡 (可能な範囲)
4	避難指示	広域避難所開設支援 各自主防災会の情報集約・市への報告 市からの情報伝達	避難が必要な住民の避難支援・誘導 (災害の発生可能性から判断) 災害の発生状況の連絡 (可能な範囲)
3	高齢者等避難	広域避難所開設支援準備 各自主防災会の情報集約・市への報告 市からの情報伝達	要援護者の避難支援 (災害の発生可能性から判断) 災害の発生状況の連絡 (可能な範囲)
2		本部立ち上げ＊ 要員招集	本部立ち上げ＊ （気象情報の推移から判断）

志津学区防災組織の体制

志津学区では以下の本部体制で災害時（地震時）の対応に取り組むこととします。　（センターとは、志津まちづくりセンターを示す）



志津学区防災本部

本部長

副本部長（センター）
- 情報班
- 総務班

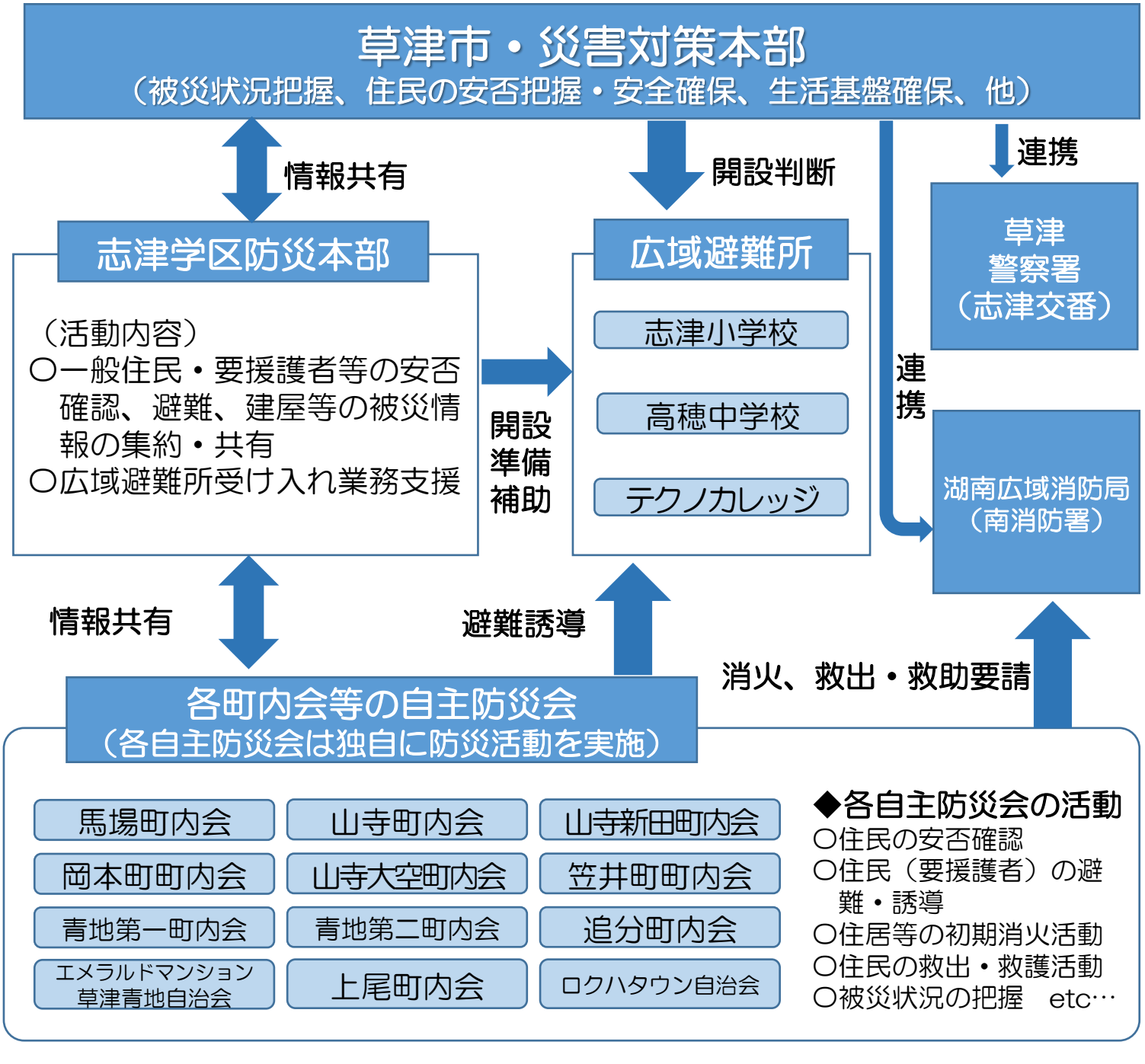
副本部長（避難所）
- 避難所支援班

災害時の業務（地震時）	要員数
○住民の安否確認情報の集約 ○建屋等の被災状況情報の集約 ○その他、市防災本部との連絡窓口 ○要援護者の被災情報集約	班長：１名 担当者： ２名／日程度
○まちセンター避難所対応 ○災害対応要員確保 ○その他、庶務事項諸々	班長：１名 担当者： １名／日程度
○広域避難所開設準備支援 ○広域避難所受け入れ業務支援	班長：１名 担当者： 10名／日程度

志津学区内の防災関係組織の役割分担と連携

志津学区では自主防災会と学区防災組織、広域避難所、草津市災害対策本部、草津警察署、湖南消防署などの防災関係組織と緊密な連携を図りながら災害時の対応を進めていきます。以下の図で示されているような組織体制で災害時（地震時）の対応に取り組むこととします。

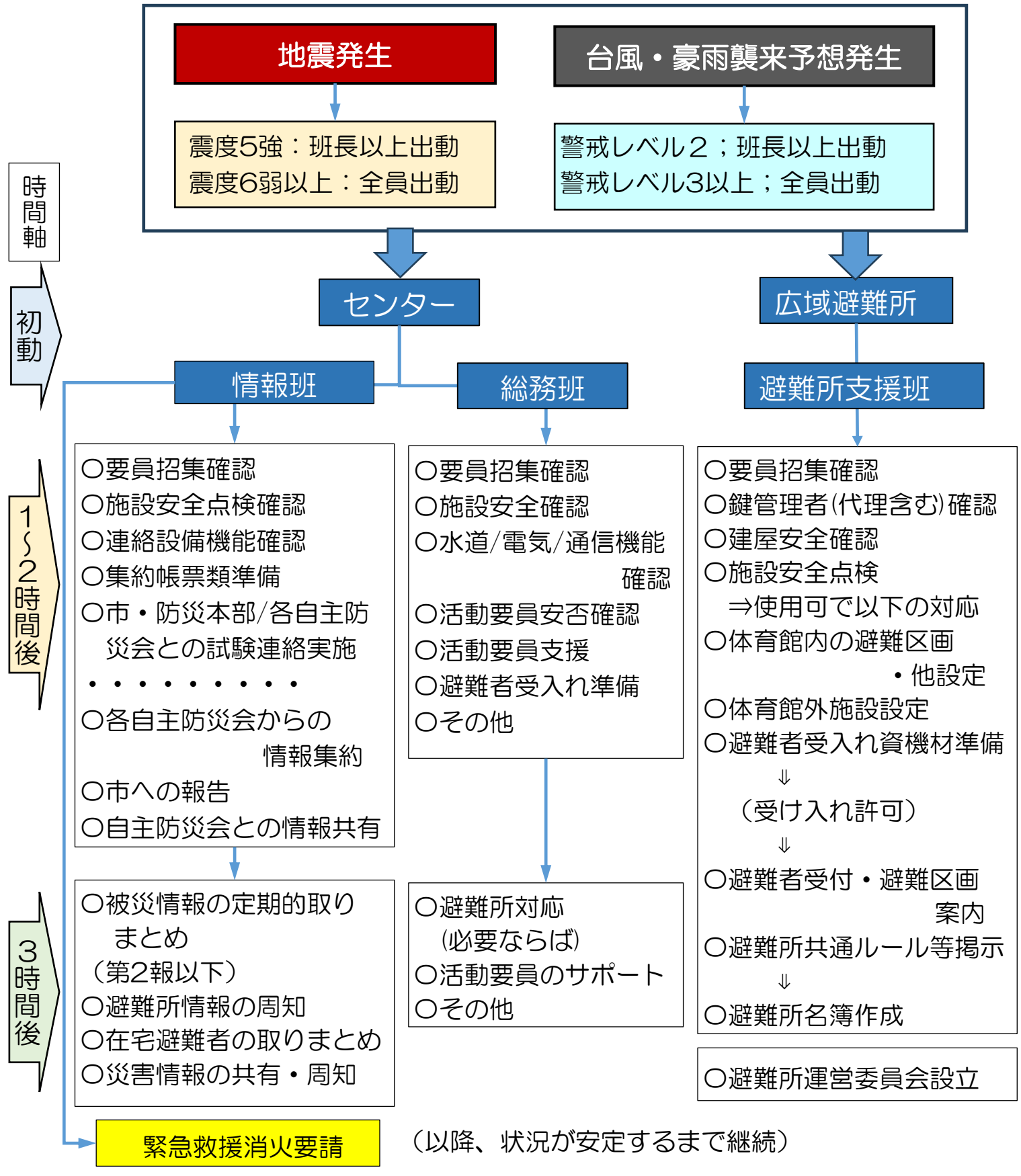
なお、「安否確認」等の住民との接点活動は各町内会等の自主防災会の基本的な役割とします。



災害発生時の活動内容

（市とは、草津市災害対策本部を示す）

①被災情報の集約・共有、②広域避難所の支援



平常時の活動

⑴防災資料等の更新
・連絡網（関係個所、要員）町別住民世帯数等の見直し、更新を行うこと。
⑵防災資機材の点検
・必要な資機材の機能・員数確認を実施すること。
⑶防災研修の実施及び派遣
・要員及び一般住民対象の研修(講習)を年1回以上実施すること。
⑷防災訓練の実施
・学区内住民を対象とした訓練を年1回以上実施すること。
⑸防災要員交代時の確実な引継ぎ
・要員が交替した際は確実な引継ぎを実施すること。
⑹その他、必要な事項

今後の課題

志津学区として今後取り組むべき課題は以下の通りである。

⑴今年度活動で検討できなかった積み残しを処理する。
・志津小学校以外の広域避難所の避難区画等を検討する。

⑵作成した志津学区防災計画の具現性を高める。
・図上演習、訓練等により、計画内容をスパイラル・アップする。
・活動要員の増強方策を検討する。

⑶その他
・志津小学校の避難区画の具体化を検討する。
・活動に必要な防災資機材等を検討する。

おわりに

第3次志津まちづくり計画書(5ヶ年計画)では学区防災対応能力の向上を図ることを目的に、初年度の令和3年度は、基礎的な知識の習得に努め、2、３年目で「志津学区防災計画」を策定、4年目の令和6年度は訓練・研修等による改善をおこない、5年目の令和7年度には総合防災訓練を実施する計画としています。

この2年間の令和4年度、5年度で志津学区防災計画策定作業は、志津学区内各町内会・自治会、草津市消防団第2分団、草津警察署志津交番、志津地区民生児童委員協議会、志津地区社会福祉協議会、志津小学校、高穂中学校、草津テクノカレッジの関係者の方々の参加を得て一旦、終えることが出来ました。関係者の方々にはこの場を借りて感謝申し上げます。

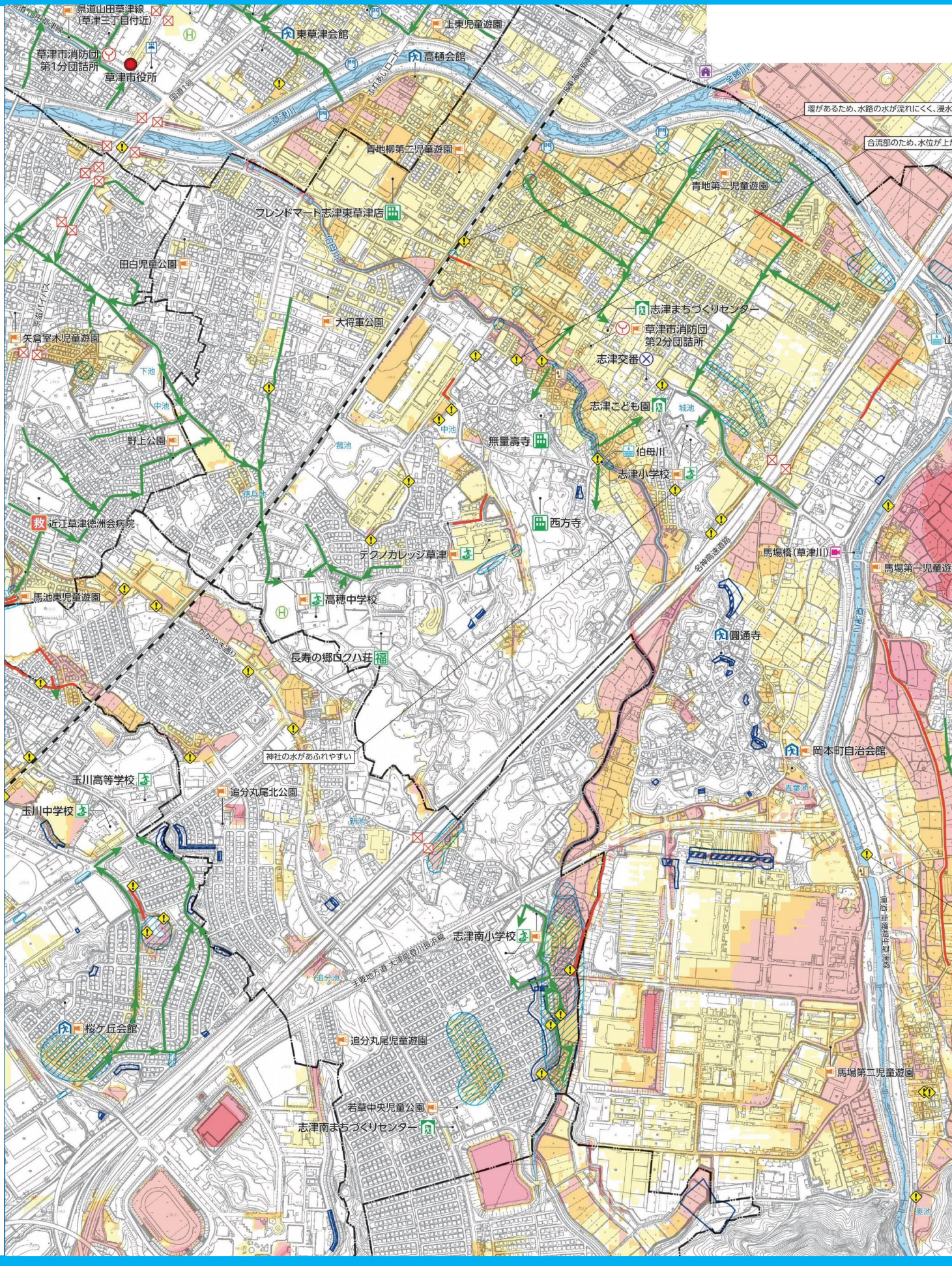
また、草津市危機管理課の皆様、有識者である龍谷大学の石原准教授他関係者の多大なご協力をいただきました。有難うございました。

残念ながら、このような作業経験・知識が不足し、説得性のある議論が十分できなかったこと、また、今後の課題が残りましたことをお詫び申し上げます。

今後は、残された課題を解決すること、また、訓練・研修により学区防災計画をよりよいものに維持・改善する取り組みをしていきたいと考えています。関係者の皆様のご協力を引き続き、宜しくお願いします。

志津まちづくり協議会　防災プロジェクト

参考：洪水・内水ハザードマップ(志津学区)



洪水 内水 草津市（志津学区）ハザードマップ

保存版
令和3年6月作成

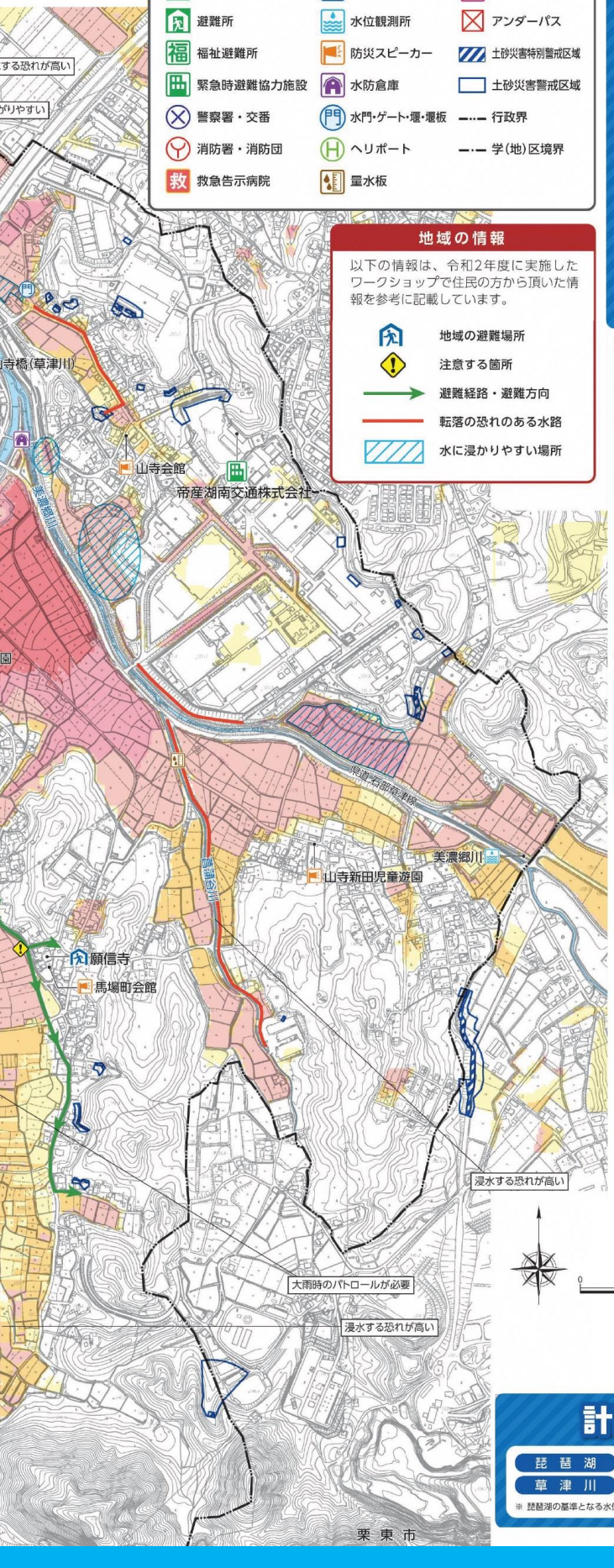
凡　例

- 広域避難所
- 避難所
- 福祉避難所
- 緊急時避難協力施設
- 警察署・交番
- 消防署・消防団
- 救急告示病院
- 雨量観測所
- 水位観測所
- 防災スピーカー
- 水防倉庫
- 水門・ゲート・堰・堰板
- ヘリポート
- 量水板
- 河川防災カメラ
- アンダーパス
- 土砂災害特別警戒区域
- 土砂災害警戒区域
- 行政界
- 学（地）区境界

地域の情報

以下の情報は、令和2年度に実施したワークショップで住民の方から頂いた情報を参考に記載しています。

- 地域の避難場所
- 注意する箇所
- 避難経路・避難方向
- 転落の恐れのある水路
- 水に浸かりやすい場所



洪水・内水ハザードマップについて

このハザードマップは、国や県が新しく公表した洪水浸水想定区域図（計画規模降雨）と地先の安全度マップを基に作成しています。表示している洪水浸水想定は、右記の4種類のシミュレーション結果を重ね合わせ、最大となる浸水域、最大となる浸水深を示したものです。

雨の降り方や土地利用状況の変化等により、浸水想定の着色がない場所でも浸水が発生する可能性があり、浸水深も深くなる場合がありますので注意してください。

- 琵琶湖洪水浸水想定区域図（H31.3.19公表）
- 草津川洪水浸水想定区域図（R1.10.1公表）
- 野洲川（下流）洪水浸水想定区域図（H28.6.14公表）
- 地先の安全度マップ（R2.3.31公表）

マップに関するお問い合わせ先

草津市建設部河川課

TEL 077-561-2397　FAX 077-561-2487

E-mail kasen@city.kusatsu.lg.jp

索引図

アンダーパスとは

アンダーパスとは、道路及び鉄道などが立体交差する場合、その下を通る構造をいいます。
大雨・洪水などではアンダーパスの道路は真っ先に浸水してしまいます。

広域避難所・避難所一覧について

広域避難所
被災者が一定期間の仮住まいをする施設として想定しており、多くの被災者を受け入れることのできる施設です。

避難所
比較的小規模な市の施設で、広域避難所を補完する避難所です。大規模災害では、まず広域避難所を開設し、地域の状況に応じて、避難所を開設します。

	名　称	所在地	電話番号
広域避難所	志津小学校	青地町 827	077-562-0341
	高穂中学校	追分七丁目 6-1	077-565-3611
	テクノカレッジ草津	青地町 1093	077-564-3296
	志津南小学校	若草二丁目 16-2	077-564-3666
	草津小学校	草津三丁目 14-5	077-562-0124
	草津中学校	草津二丁目 16-8	077-562-2125
	草津第二小学校	大路二丁目 7-62	077-563-3800
	玉川中学校	野路東三丁目 3-18	077-566-3631
	玉川高等学校	野路東三丁目 2-1	077-565-1581

	名　称	所在地	電話番号
避難所	志津まちづくりセンター	青地町 561	077-562-0047
	志津南まちづくりセンター	若草五丁目 10	077-563-6206
	草津まちづくりセンター	草津一丁目 4-33	077-564-4999
	大路まちづくりセンター	大路二丁目 9-11	077-563-5673
	志津こども園	青地町 845	077-562-0147
	草津中央おひさまこども園	草津三丁目 13-10	077-562-7180
	たちばな大路こども園	大路二丁目 1-55	077-561-0180

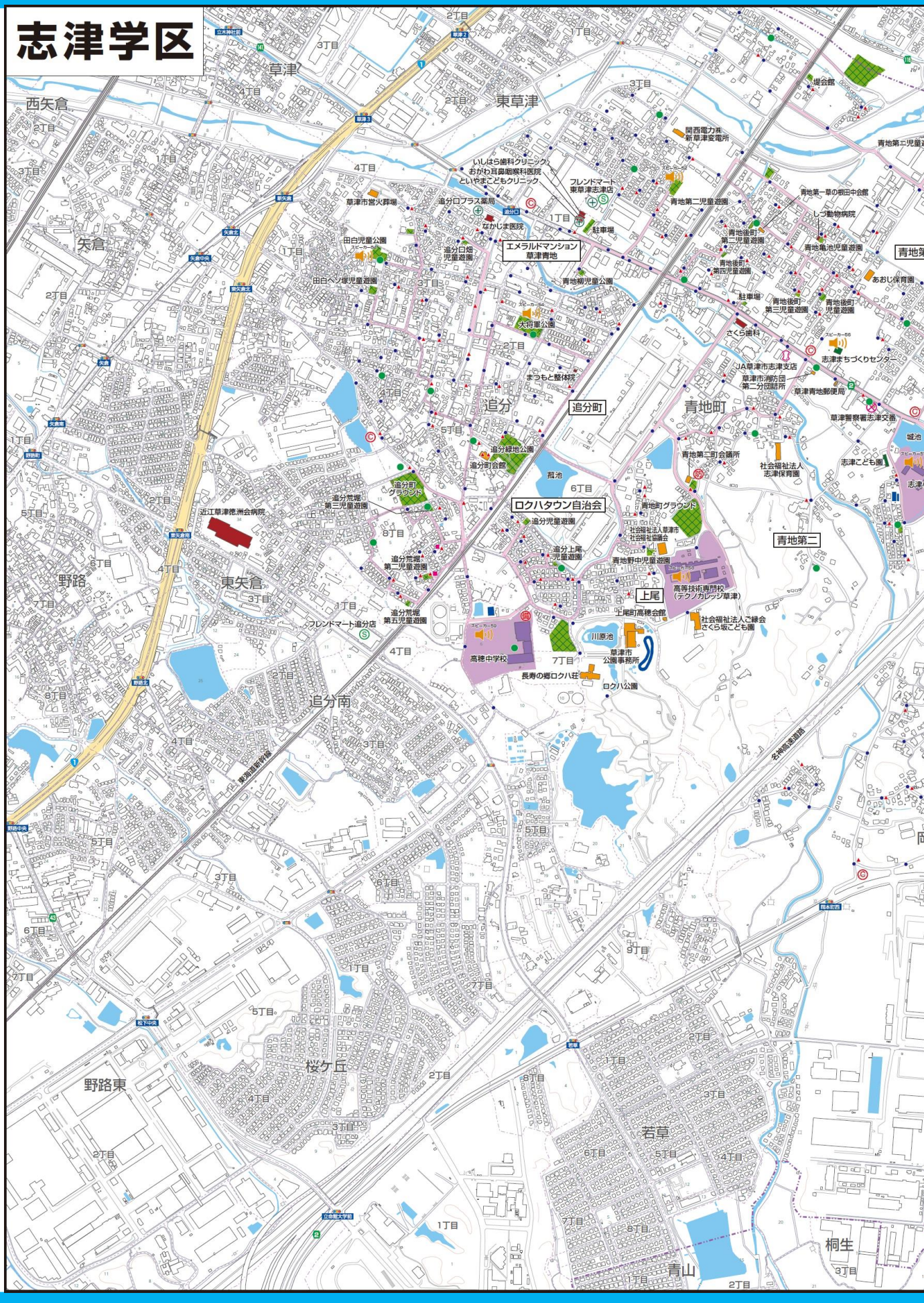
1：7,000
0　500m

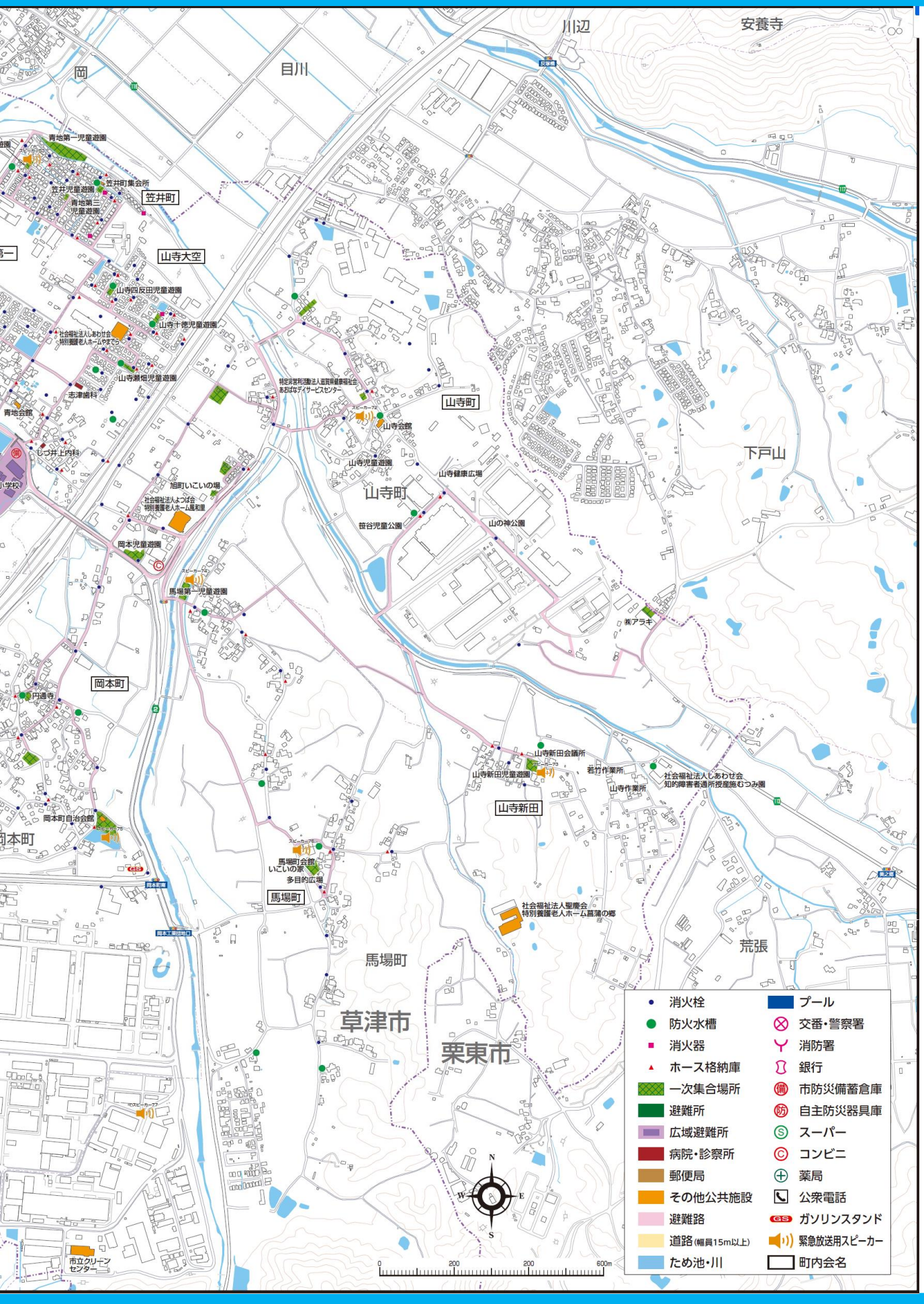
計画規模降雨（概ね100年に1回程度起こると予想される降雨規模）

琵琶湖	琵琶湖高水位　B.S.L.※+1.4m	野洲川（下流）	野洲川流域の1日間総雨量350mm
草津川	草津川流域の12時間369mm	地先の安全度マップ	1時間最大109mm、24時間529mm

※ 琵琶湖の基準となる水位（B.S.L.±0m）は、東京湾平均中等潮位（T.P.±0m）から+84.371mの高さです。

参考：防災マップ(志津学区)




川辺
安養寺
目川
岡
笠井町
山寺大空
山寺町
下戸山
岡本町
山寺新田
馬場町
荒張
草津市
栗東市
青地第一児童遊園
笠井町集会所
笠井児童遊園
青地第三児童遊園
山寺四反田児童遊園
山寺十徳児童遊園
山寺瀬畑児童遊園
志津歯科
青地会館
しづ井上内科
旭町いこいの場
岡本児童遊園
馬場第一児童遊園
円通寺
岡本町自治会館
山寺会館
山寺児童遊園
山寺健康広場
笹谷児童公園
山の神公園
㈱アラキ
山寺新田会議所
山寺新田児童遊園
若竹作業所
山寺作業所
馬場町会館
いこいの家
多目的広場
社会福祉法人聖慶会
特別養護老人ホーム菖蒲の郷
消火栓
防火水槽
消火器
ホース格納庫
一次集合場所
避難所
広域避難所
病院・診察所
郵便局
その他公共施設
避難路
道路(幅員15m以上)
ため池・川
プール
交番・警察署
消防署
銀行
市防災備蓄倉庫
自主防災器具庫
スーパー
コンビニ
薬局
公衆電話
ガソリンスタンド
緊急放送用スピーカー
町内会名
N
W
E
S
0
200
200
600m

参考：町内会等の活動状況

令和４年度に志津学区町内会の自主防災活動の状況についてアンケート調査を実施しました。
以下に、アンケート結果から把握できた活動状況について報告します。
次の２ページには、町内会別の活動状況の集計を記載します。
尚、アンケートの調査説明の解釈に差があることから回答に差があることをご容赦ください。※ここでは町内会・自治会を総称して「町内会」と示します。

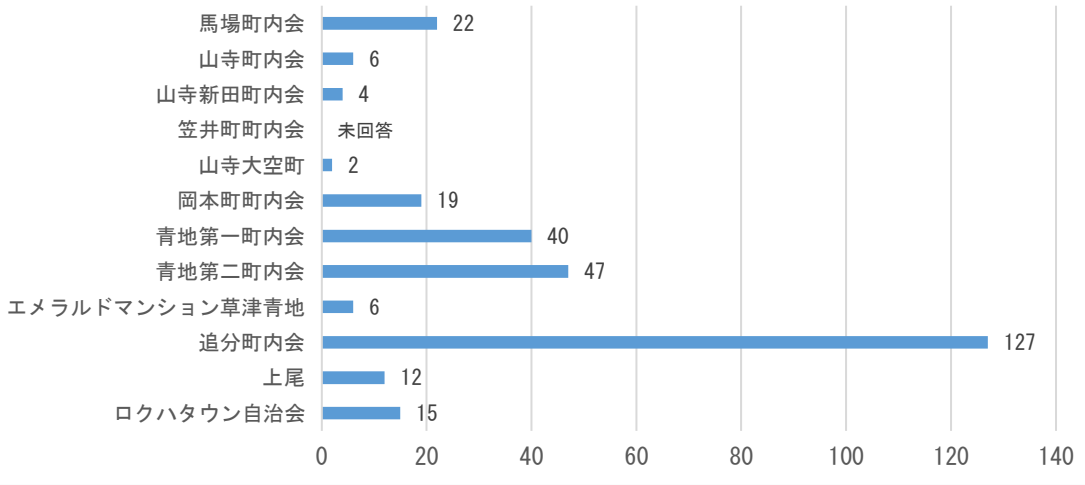
- 各町内会の世帯数は合計で3582世帯、未加入世帯は、推定406世帯である。※未加入世帯は各町内会からの申告世帯数に基づく。
- 志津学区全体では約300世帯の要援護者登録世帯となっている。
- 自主防災会の役員任期は、2年の町内会等が多くなっている。
- 令和3年度における志津学区の自主防災会の活動状況としては、57回であった。
- 安否確認表、要援護者確認表は全町内会で概ね整備されている。
  しかし、要援護者対応要領の整備が1町内会のみである。
- 今後、自主防災会で重視したい項目について、自主防災会の組織改編志津学区防災計画への取組み、要援護者対策が必要との認識が多かった。

（以上）

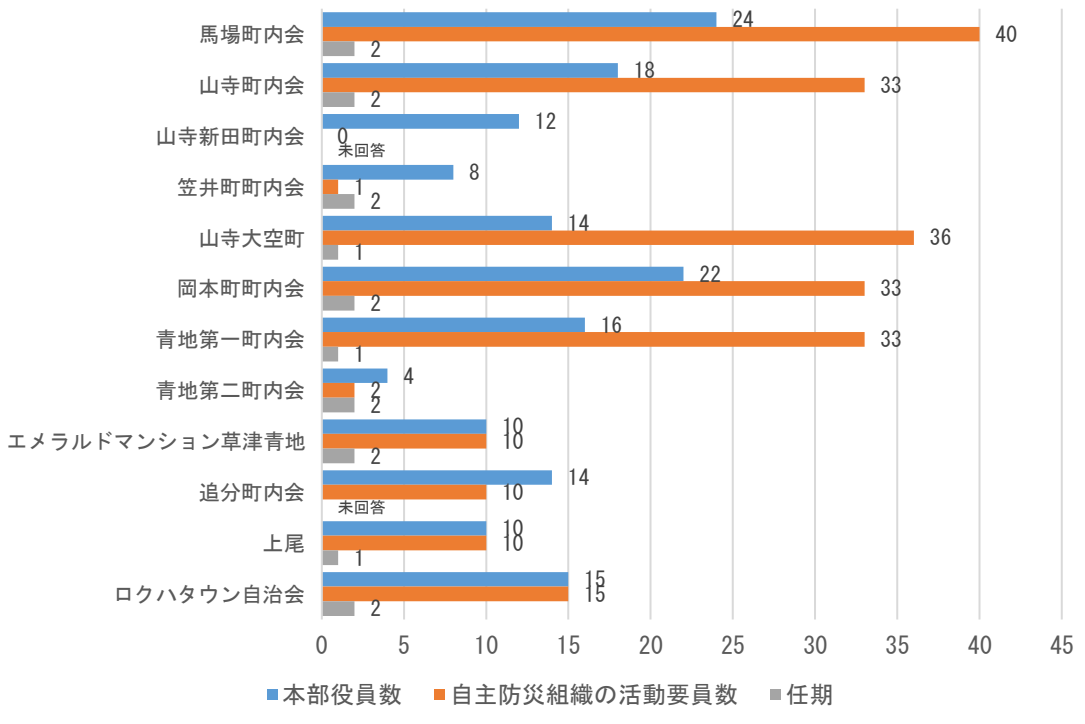
１．各町内会、自治会の概要(世帯数について)

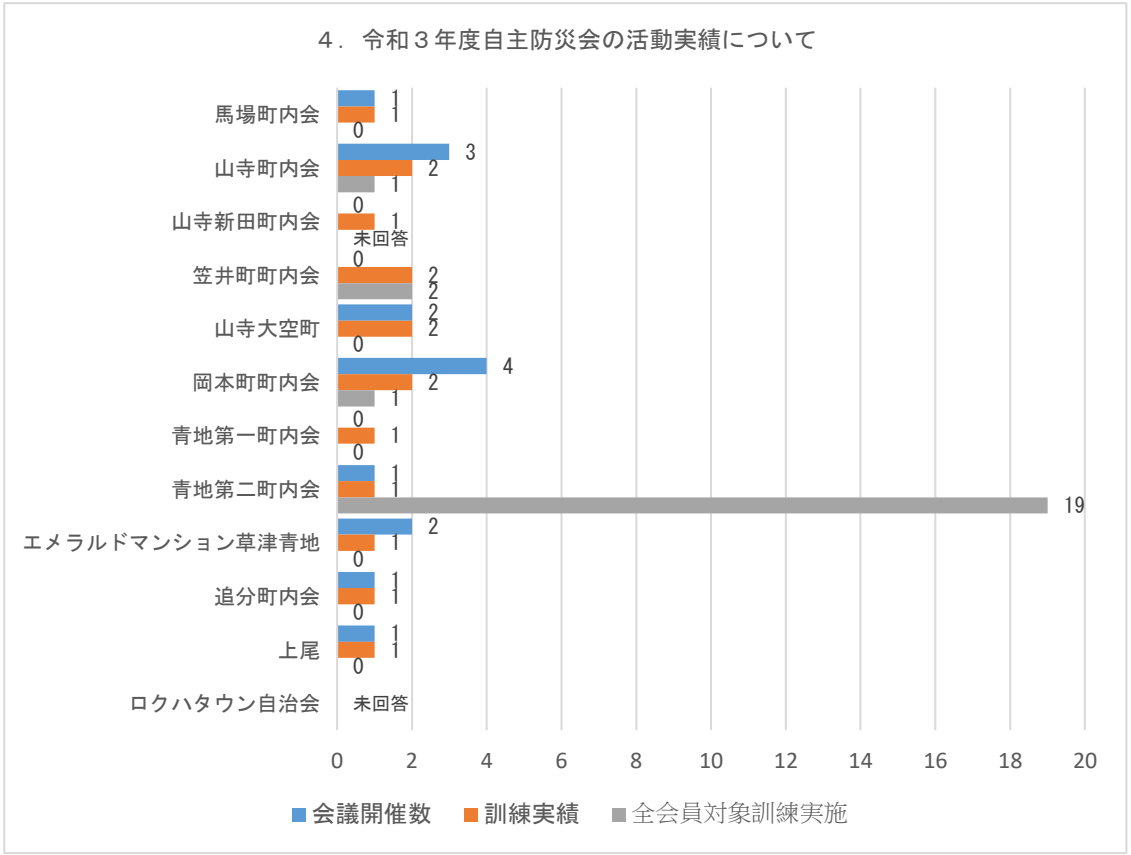
自治会・町内会	世帯数	未加入世帯(推定)	備考
馬場町	165	50	
山寺町	112	10	
山寺新田	40	0	
笠井町	68	ー（未回答）	
山寺大空	182	2	
岡本町	271	ー（未回答）	
青地第一	830	50	集合住宅含
青地第二	610	160	
エメラルドマンション草津青地	102	0	
追分	993	132	
上尾	103	0	
ロクハタウン	106	2	
合計世帯数	3582世帯	406世帯	

２．要援護者登録世帯数について



３．本部、自主防災会の活動要員数と任期について





５．各自主防災会の安否確認、要援護者の対応の整備の有無について

自治会・町内会	安否確認表	要援護者確認票	要援護者対応要領
馬場町内会	○	○	×
山寺町内会	○	○	×
山寺新田町内会	○	○	×
笠井町町内会	○	×	×
山寺大空町	×	○	○
岡本町町内会	○	○	×
青地第一町内会	×	○	×
青地第二町内会	○	○	×
エメラルドマンション草津青地	○	○	×
追分町内会	○	○	×
上尾	○	○	×
ロクハタウン自治会	○	○	×
整備済数合計	10	11	1

６．今後、自主防災会の活動で重視、活動したい項目について

自治会・町内会	自主防災会の組織改編	地区防災計画への取り組み	要援護者対策
馬場町内会	○	×	×
山寺町内会	○	×	○
山寺新田町内会	○	○	×
笠井町町内会	×	×	○
山寺大空町	○	×	×
岡本町町内会	×	○	○
青地第一町内会	×	○	○
青地第二町内会	×	○	○
エメラルドマンション草津青地	○	×	×
追分町内会	○	○	○
上尾	×	×	○
ロクハタウン自治会	×	×	×
合計回答数（○）	6	5	7

奥　付

志津学区防災計画策定メンバー　令和４年度

志津学区地区防災計画策定メンバー

	リーダー	鈎　孝幸	安全安心プロジェクトサブリーダ
	サブリーダー	我孫子　博	安全安心プロジェクトリーダ
	コアメンバー	青木　有三	地区防災計画策定担当
	コアメンバー	松永　直之	地区防災計画策定担当
	コアメンバー	山崎　あや子	地区防災計画策定担当
	コアメンバー	斎藤　一郎	地区防災計画策定担当
	コアメンバー	林　文男	地区防災計画策定担当
	事務局	木村　隆文	志津まちづくり協議会職員
	検討メンバー	山中　尚治	馬場町内会
	検討メンバー	奥村　嘉英	山寺町町内会
	検討メンバー	奥村　吉明	山寺町町内会
	検討メンバー	山口　均	山寺新田町内会
	検討メンバー	沢本　安生	山寺新田町内会
	検討メンバー	曽我　徹	笠井町町内会
	検討メンバー	吉山　岳行	山寺大空町内会
	検討メンバー	奥村　輝雄	岡本町町内会
	検討メンバー	三河　洋佑	青地第一町内会
	検討メンバー	北川　和良	青地第二町内会
	検討メンバー	矢野　太計夫	エメラルドマンション草津青地自治会
	検討メンバー	高岡　順	追分町内会
	検討メンバー	西川　清彦	追分町内会
	検討メンバー	鈴木　登	上尾町内会
	検討メンバー	奥村　眞大	ロクハタウン自治会
	検討メンバー	竹村　雅嗣	消防団第2分団
	検討メンバー	加藤　勇	志津地区民生委員児童委員協議会
	検討メンバー	西垣　和美	志津社会福祉協議会
	検討メンバー	横山　透	草津警察署志津交番
	検討メンバー	石井　秀樹	志津小学校
	検討メンバー	作田　まさ代	高穂中学校
	検討メンバー	岩間　茂樹	高穂中学校
	検討メンバー	谷村（野村）	草津テクノ・カレッジ
草津市	危機管理課 係長	猪口　俊輔	
	危機管理課 主査	藤井　利光	
	危機管理課	間宮　啓太	
龍谷大学 政策学部	准教授	石原　凌河	
一般財団法人　関西情報センター	チームリーダー	坊農　豊彦	
		西田　佳弘	
		坂田　真侑子	
		湯井　恵美子	
		前川　良栄	

志津まちづくり協議会

草津市青地町５６１番地
TEL/FAX 077-562-0047